

よっかいち 市議会 だより

8月定例会議会号



市議会が考える
四日市の未来に向けた
三つの提言



特集

決算を次年度の予算へ生かせ!

～予算編成に向けて三つの取り組みを提言～

→P.2～3



市議会HP
情報発信中!

No.346 令和6年11月20日発行

決算を次年度の予算へ生かせ！

～予算編成に向けて三つの取り組みを提言～

予算は使ったら終わりではありません。8月定例会議会では前年度の予算がどのように使われたか、事業や施策が効果を上げていたかを審査する決算審査を行います。

市議会では、この決算審査の中で出された意見を集約し、次年度の予算編成に反映するよう市長へ提言を行う取り組みを令和元年度から実施しており、今年度は新たに三つの提言を行いました。

市議会ホームページから詳しい内容をご覧ください。



四日市市議会の予算・決算サイクル

令和5年度
予算執行
(令和5年4月～
令和6年3月)

令和7年8月定例会議会
(令和6年度 決算審査)
市長へ提言をして終わりではありません！市の取り組み状況を引き続きチェックします！

令和7年度
予算執行
(令和7年4月～)

令和7年度
予算成立
(令和7年3月)

令和6年8月定例会議会
(令和5年度 決算審査)

四つの分科会（総務、教育民生、産業生活、都市・環境）に分かれ、前年度の予算がどのように使われたかを審査します。

この審査の中で、意見や課題を委員全員で整理し、議長から次年度の当初予算編成に反映するよう市長へ提言を行います。

新たに三つの提言を 市長へ提出

令和7年度
予算編成
提言内容を受けて
市が予算案を作成
(令和6年10月～
令和7年2月)

令和7年2月定例会議会
(令和7年度 予算審査)
市議会からの提言を受けて市が作成した、令和7年度の当初予算を審査する時に、提言内容が予算案に反映されているか、改めて確認します。

防災備蓄品の見直しと 市民への啓発を！

令和6年能登半島地震を教訓として、市民への家庭備蓄の啓発が必要である。また、市の防災備蓄品の見直しと拡充を検討すべき。さらに、備蓄品の保管場所が不足している場合は、新たな保管場所を調査すべき。



取り組みを
強化すべき！

介護認定にかかる日数短縮に 向けた手法の調査研究を！

高齢化に伴う要介護認定の申請の増加を見据え、市民の利便性向上と業務効率化のため、介護認定にかかる日数短縮に向けた調査研究を実施すべき。また、オンライン申請やAIの活用等についても調査すべき。



取り組みを
強化すべき！

公園・緑地等の維持管理の 在り方の検討を！

担い手が高齢化している公園等の維持管理について、企業や団体への公園の利用許可等のインセンティブの導入や有償ボランティアなど、住民・企業が協力しやすい制度を検討すべき。また、維持管理に必要な機械等の支援の拡充も検討すべき。



新規事業を
実施すべき！

これまで提言した 取り組みはどうなった？

これまで提言した以下の取り組みについても状況を確認し、提言の取り扱いについて議論しました。

- ・ 降雨災害の対策に資する事業展開に向けた調査研究について
- ・ 食肉センター・食肉地方卸売市場施設整備事業について
- ・ 四日市市空き店舗等活用支援事業補助金について → 次年度の決算審査までチェックを継続します
- ・ 民間プール施設の活用の拡大について → 一定の対応を確認しました



用語解説【討論】 採決の前に議題となっている案件に対し、賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

請願第3号（審査期限の延期） 討論（反対）
本請願は、市が本年6月に行う調査の結果とその後への対応を踏まえて審査すべきとして、審査期限が一度延期されている。調査ではすべて暫定指針値を下回ったが、調査地点は下流のため、高濃度のPFASが薄まっている可能性

があり、安全性が確認されたとは言い難い。市民団体の調査によりPFASの値が高い地点があることは明らかである。公害を経験した本市だからこそ、二度と環境破壊を許さないとの決意で、実態を把握するため直ちに本請願を採択すべきと考え、審査期限の延期に反対する。（村上暁議員）

特別委員会 [◎委員長 ○副委員長]
中小企業振興基本条例調査特別委員会（6人）
◎加納 康樹 ○上 麻理 今村 厚美 田中 徹 樋口 博己 平野 貴之

委員会審査 常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

本市の状況に合った発注方法を
◆工事請負契約の締結
—消防指令システム等更新工事—
問 応札が1者しかなかったのは、本市独自の仕様にしたからか。
答 国から標準仕様書が示されており、複数のメーカーが入札できる状況だと考えている。
問 随意契約にすれば、本市の状況に合ったシステムにできるため、総合評価方式での入札を見直すべきではないか。
答 県内の他の消防本部の入札時期が近かったため、応札者が少なかった可能性がある。次回の更新の際には、発注時期を検討したい。



三重北消防指令センター

産業生活常任委員会

電気自動車を配備する目的は？
◆動産の取得
—電気自動車（軽貨物自動車）13台—
問 電気自動車は災害時にどのような役割を担うのか。
答 地区市民センター内に常駐させて災害対応に活用する予定である。
問 1回の充電で走行できる距離や車両の維持費に問題はないのか。
答 仕様では1回の充電で245km走行でき、十分使用できる。また、消耗部品が少ないため車検費用が安くなる。さらに、燃費についても、ガソリン車と比較して安価に走行できる見込みである。



教育民生常任委員会

新しい幼稚園型こども園への人員配置は？
◆市立幼稚園条例の一部改正
問 新しく公立の幼稚園型認定こども園になる6園への職員配置の方針を確認する。
答 認定こども園移行後は、3歳児と保育認定の園児の受け入れ、午後6時までの保育、土曜日の保育を実施するために職員の増員が必要となる。今年度は多くの採用内定を行っており、園の運営が十分にできよう公立の園全体で職員を配置していきたい。
問 保育士不足の中、そのような十分な職員を配置することは可能なのか。
答 園児数に応じ、効率よく園運営ができるよう職員を配置したい。



都市・環境常任委員会

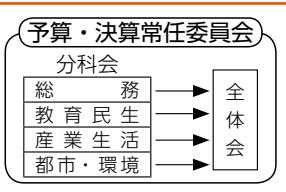
◆工事請負契約の締結
—四日市中央線道路整備工事（東工区その3）—
問 大学の設置を検討しているエリアで、今、道路整備を進めると、大学を設置する際に、再度工事が必要となるのではないか。
答 中央通りの車道を南側へ集約する工事を行う上で、JR四日市駅前広場へのバスの進入を円滑にするためのもの、大学誘致を担当する部局とも調整しながら事業に取り組んでいる。
問 本工事は仮設の工事という理解でよいのか。
答 今ある駅前広場を利用する形での仮設の工事である。



JR四日市駅

予算・決算の審査について

予算および決算は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



予算常任委員会分科会

総務分科会

新図書館の候補地は？
◆新図書館等拠点施設整備事業
問 スターアイランド跡地での計画を断念してから、次の候補地の絞り込みが早過ぎる。議論や協議を十分に重ねるべきではないか。
答 新図書館の整備は市民から高い期待が寄せられているため、速やかに事業を進めたい。

この事業に関しては、分科会では採決は行わず、予算常任委員会全体会へ審査を送り、改めて委員全員で議論を行うこととしました。

教育民生分科会

学校におけるさまざまな問題の解決に向けて
◆学校問題解決のための支援体制構築モデル事業
問 弁護士などの専門家で構成される委員会を創設し、学校だけで解決が難しい問題の迅速な解決を図ろうとするものだが、このモデル事業に取り組むこととした経緯を確認したい。
答 裁判に至る前にお互い納得がいくような解決を目指す仕組みをつくれぬか三重弁護士会と協議を進めていたところ、国がモデル事業を新しく立ち上げたため、本市で取り組むこととした。

産業生活分科会

収穫量を増やすための補助の内容は？
◆産地生産基盤パワーアップ事業補助金
問 国産小麦および大豆の取り扱い数量を増加させる取り組みを推進するため、生産性の向上に必要な農業機械の導入を支援しようとするものだが、今回の補正による補助内容を確認したい。
答 補助申請をした生産者に対し、トラクターと肥料散布機等の費用を補助するものである。



都市・環境分科会

スケートボード等の迷惑行為への対策は？
◆中央通り再編事業（Park-PFI事業）
問 中心市街地の商店街などでスケートボード等による迷惑行為が発生している。アーバンスポーツの環境整備を進めると併せて、迷惑行為の取り締まりについても全庁的に取り組むべきと考えるがどうか。
答 これまでも関係部局と連携して、近鉄四日市駅周辺や中心市街地の商店街をスケートボードで滑走する人への声掛けを行った。引き続き、関係部局と連携して、どのような取り組みができるか検討していく。

予算常任委員会全体会

新図書館整備に向けた丁寧な説明を
◆新図書館等拠点施設整備事業費
問 新たな候補地での整備が最適だという根拠を示さなければ、今後も用地取得や設計等で議会や市民の理解を得るのは難しいのではないか。
答 新図書館を中心とした複合的な中心市街地拠点施設を整備するためには、新たな候補地での整備が最善と考えている。今後も進捗状況を丁寧に説明しながら、一日も早く市民が誇れるような図書館を整備していきたい。
問 候補地の土地は取得を前提とし、場合によっては賃借の可能性もあるとのことだが、借地契約は将来の市の財政に負担となり続けるため、リスクが大きいのではないか。

はないか。
答 今後、調査を進めた上で、用地取得と借地契約のそれぞれのリスクを比較し、議会での議論も踏まえて判断していく。

●議論を経て、次のような附帯決議を付しました。

[附帯決議]
「予算の執行にあたっては地元自治会に十分な説明を行い、主要地権者に売買または賃貸の意向の意思を確認し、都度議会に報告すること。また、上記土地面積において基本計画、基本構想がより達成できる場所であるか否か、市有の土地と比較を行い議会に説明を行うこと。」

決算常任委員会分科会

総務分科会

男性職員の育児休業の取得の状況は？

◆男性の育児休業

問 他市では、職員へ育児休業を取得しない理由の提出を求めたところ、取得率が大きく増加した事例があるが、本市でも導入してはどうか。

答 本市では、子どもが生まれた男性職員に対し、所属長が育児休業制度の説明と取得意思についてヒアリングを実施しており、現在、対象者の約80%が育児休業を取得している。



財源流出を防ぐための今後の取り組みは？

◆ふるさと応援寄附金関連経費

問 ふるさと納税による財源の流出は1億円程度減少したが、依然として、約8億円が市外へ流出している。今後はどのように取り組むのか。

答 本市の魅力発信した結果、本市への寄付額が増えたので、今後も本市を応援してくれる人を増やせるよう努力していきたい。

意見 財源の流出を防ぐには、寄付の受け入れを増やすしかないの、今後も努力してほしい。

教育民生分科会

保育士等の人材の確保に向けて

◆保育士等人材確保事業

問 保育士不足の課題をどのように解決していくのか。

答 保育士を目指す人自体を増やす必要がある。また、北勢地域で養成校を卒業する人数や、必要な保育士の人数などの分析も必要と考えている。今後は、保育士の処遇改善などを含め、市全体の待機児童の解消に向けて努力したい。

問 一定の人数を確保するために、採用基準を下げて、保育の質を低下させていないか。

答 公立園は採用試験で一定の点数以上の人を採用しており、保育の質を担保している。

意見 幼児教育センターの機能を活用して、採用した保育士をサポートし、保育の質を担保することが重要である。幼児教育センターの職員が各園を訪問して必要な指導を行うなど、さらなる取り組みを行い、支援を行き渡らせてほしい。



産業生活分科会

病院経営を改善するために

◆経営改善プロジェクト

問 厳しい経営状況に対応するため、患者へのアンケート調査の実施などのマーケティングに基づく経営が必要ではないか。

答 将来的には、人口減少に伴う病床数の見直しの検討が必要となるが、急性期の疾患に対応するためには、一定の病床数と医療資源の確保も必要である。変化する需要に対応するための柔軟な経営戦略を立てる必要があると考える。

競輪場の来場者を増やすには？

◆競輪事業

問 アーバンスポーツの導入や施設のリニューアルを通じ、競輪場の活性化を図るべきだと考えるがどうか。

答 インターネット投票を中心に売り上げが好調な半面、来場者数をいかに増やすかが課題となっている。イベント会場としての活用や競輪場の演出面の強化などで、車券売り上げの向上と競輪場への来場を促したい。



都市・環境分科会

外国人来館者数の目標は？

◆四日市公害と環境未来館の外国人の来館者数

問 外国人の来館者数の数値目標はあるのか。

答 個人で来館した場合は外国人かどうか判断できないため、集計できていない。数値目標を示すことは難しいが、前年度以上の来館者数を目標したい。



生ごみ処理機の利用を広めるために

◆生ごみ処理機購入費補助

問 令和5年度の補助件数が大幅に増加しているのはなぜか。

答 生ごみ処理機を購入後、申請書に領収書を添付して提出すれば補助が受けられるように申請方法を見直したためと考えている。

問 現在の補助金額は適切だと考えているか。

答 現在より補助金額の上限が高かった時もあるので、補助金額の上限を引き上げられないか検討したい。

意見 生ごみ処理機の普及は、効率的なごみの焼却に寄与すると考える。次年度に向け、補助金額の見直しを検討してほしい。

一般質問した議員と項目 (質問順)

樋口 博己	・ 四日市市の命を守る危機管理 ・ 観光協会の現状と今後について
荒木 美幸	・ 未来に残そう十四川の桜並木 ・ 災害時の環境整備について
中川 雅晶	・ 地域の多様な主体の連携及び協働の推進について ・ 障がいのある子どもの学びや体験の機会創出について
上 麻理	・ 地域のまちづくり、これから何が必要か ハード面（農地の活用含め） ソフト面
笹井 絹予	・ 駅の利便性と河川の維持管理 ～快適な緑地をつくろう
荻須 智之	・ 水道水の水質検査について ・ 朝明中学校通学路の安全について ・ 開館一周年の電子図書館について
森川 慎	・ 公契約条例について ・ 富の再分配に基づく予算配分について
森 康哲	・ 公共交通について（自主運行バス） ・ セントレアへの海上アクセスの復活について ・ 中央緑地公園周辺の交通渋滞緩和策について
伊世 利子	・ 避難行動要支援者制度、個別避難計画の活用について ・ 四日市市としての新型コロナウイルス感染症の検証と今後について
後藤 純子	・ がん患者について ・ スポーツ防災について ～防災を身体で覚えてはどうか～
小田あけみ	・ 通級指導教室について ～送り迎えをする親の負担を減らせないか？ ・ 市外からの転入者をターゲットとした四日市の魅力発信 ～企業への働きかけは？
村山 繁生	・ 今後の四日市花火大会について ・ 合葬墓の整備について
竹野 兼主	・ 楠・磯津地区における防災対策等について ・ ガン検診について パート7
谷口 周司	・ 「四日市市政」本当にこのままでいいのか !!
山田 知美	・ 地域経済を支える事業承継の推進について
辻 裕登	・ 0～2歳児の保育料見直しについて ～近隣市町と比べた現状～ ・ 北勢バイパス・東海環状自動車道全面開通が生み出す効果とその先 ～物流ルートが確保される今こそ企業誘致を積極的に～ ・ 持続可能な花火大会 in 千歳地区に向けた取り組み
平野 貴之	・ アートで輝くまちの魅力 ・ わずかな緑を未来につなげ
今村 厚美	・ こんな笑顔見たの数年ぶりだわ ・ 幼稚園閉園後の跡地利用について
小林 博次	・ 子育て支援について
田中 徹	・ 四日市版「のるーと」 オンデマンドバス（乗り合いワゴン） ～11月から河原田地区で行われる実証実験について～
水谷 一未	・ 避難所のあり方について
太田 紀子	・ 加齢性難聴者への補聴器購入費の助成を ・ 熱中症対策に必要な支援を
村上 暁	・ パートタイム会計年度任用職員の待遇改善について

一般質問から

一般質問は、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめるものです。

8月定例会議会は、23人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細については、市議会ホームページの「インターネット録画中継」または「会議録（次の11月定例会議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

障害福祉 すべての子どもたちに学びや体験の機会を提供せよ



公明党 中川 雅晶

議員 放課後等デイサービス（※）の現場からは、子どもたちへの体験活動の機会の確保に苦慮しているとの声を聞く。障害の有無にかかわらず、子どもたちへ多様な学びや体験の機会を提供することは市の責務だと考える。市立博物館では既に乳幼児を連れて来館しやすい日を設けているが、同じように障害のある子どもも来館しやすい日を設けてはどうか。また、放課後等デイサービスに通う子どもたちを対象とした芸術体験を企画、推進してはどうか。

副教育長 障害のある人が来館しやすい日を設けることについて、先進事例を調査研究するなど、引き続き、すべての人へ学びや体験の機会を保障する取り組みを進める。

※ 6歳から18歳までの障害児を対象とした、放課後や学校休業日に生活能力向上のための訓練等を受けられるサービス

シティプロモーション部長 関係機関と連携して、障害のある子どもが文化や芸術に触れる機会を設け、きめ細やかに情報を発信し、誰もが参加しやすい場を提供する取り組みを進める。

議員 子どもたちの学びや体験の機会の創出に向けて、放課後等デイサービスの関係者と意見を交わす機会を持つべきだと考えるがどうか。

こども未来部長 三重郡3町と共に設置している会議体で放課後等デイサービス事業所と情報共有を行うとともに、県立西日野にじ学園のPTAが開催する懇談会に出席して要望等を聞いている。今後も意見交換の機会の創出に努める。

議員 障害のある子どもの学びや体験の機会の創出に全庁的に取り組むことを強く要望する。



デジタル化 命を守るためマイナンバーカードの活用を



公明党 樋口 博己

議員 マイナンバーカードを活用して救急医療を迅速化するためのマイナ救急（※1）の実証事業について、状況と課題を確認したい。

消防長 実証事業に2カ月間参加し、救急搬送時にマイナンバーカードを活用することで正確な傷病者情報を医療機関に伝えることができた。一方、報道や広報紙などで周知したが、健康保険証として登録があり、情報が取得できた人の割合は全体の7%にとどまった。マイナンバーカードの携帯や健康保険証としての利用登録が課題と考えており、来年度以降の本格的な導入を見据え、引き続き広報活動に努めていきたい。

議員 デジタル庁が行った避難者支援の実証実験では、地震などで避難所が開設された際に、

マイナンバーカードを活用して避難者の入退所や薬剤情報の管理を行うことで、手続きがスムーズに進んだことから、避難者の把握に要する時間が10分の1に短縮できたと報告されている。本市は、避難者支援業務のDX化（※2）について、どのように取り組むのか。

危機管理統括部長 市民総ぐるみ総合防災訓練で、マイナンバーカードやスマートフォンでの受け付けを試行予定である。大規模災害時における避難者の迅速かつ正確な把握は救助活動を効率的に実施することにもつながるため、DX化の手段を引き続き検討していきたい。

議員 デジタル化はどんどん進む。多くの市民の参加を促し、さらに取り組みを進めてほしい。

※1 救急隊がマイナンバーカードを読み取り、傷病者情報を把握することで、救急活動の迅速化や円滑化を図る取り組み
 ※2 デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること



防災 災害時の環境整備を急げ！



公明党 荒木 美幸

議員 令和6年能登半島地震では、避難所の断水により衛生環境が悪化した。避難者がトイレの使用を控えるために水分摂取を制限した結果、脱水症状などを発症しており、災害関連死につながる問題である。令和6年2月定例会議会の代表質問でもトイレトレーラー（※）の導入を提案したが、検討状況はどうか。

危機管理統括部長 避難所への簡易トイレやマンホールトイレの整備を進めており、トイレトレーラー等の導入に当たっては、平時の運用も考える必要がある。イベントでトイレとして活用したり、防災啓発の一環で展示することが考えられるが、引き続き検討したい。

市長 発災時のトイレ環境の整備は重要であり、情報収集を行ってきた。今後、トイレトレーラー等の導入を目指し、発災時と平時の運用方法について、具体的に検討したい。

議員 キッチンカーは、発災時に柔軟に移動しながら、インフラに依存せずに炊き出しができ、被災者の安心につながる。また、地元の飲食店

などがキッチンカーを使って支援に参加できる。市は、市内のキッチンカーを所有する事業者と協定を結ぶなど、活用を検討すべきではないか。

危機管理統括部長 キッチンカーは、災害時の食料提供だけでなく、相談受け付けを通じた支援情報の提供や被災者同士の情報交換の場などとして役立つ事例がある。国の動向を注視しつつ、調査研究を進めたい。



令和6年能登半島地震の被災地支援のため派遣された資材市のトイレトレーラー 出典：(一社)助けあいジャパン

※ 移動可能な仮設トイレを備えたトレーラー。災害時の避難所などに設置される



農業 さまざまな観点からの方策で本市の農業を守れ



政友クラブ 上 麻理

議員 農地内の市道を低速で走る農耕用作業車が、一般車両に停車させられ、文句を言われたりして農業者が困っている。中央線のない道路等の法定速度を時速30kmに引き下げる内容の改正道路交通法施行令が施行されると、住宅街では速度を落とすとしても、農地内では速度を上げる一般車両が出てくる恐れがある。農地内の市道を走る一般車両の速度をどう抑制するのか。

都市整備部建設担当部長 ゾーン30（※1）やゾーン30プラスの区域内の速度抑制対策として、ランプや狭窄（※2）のほか、減速マークやカラー舗装による路面標示などの整備を行っており、農地内の道路においても有効である。また、農耕用作業車への接触や追突を防ぐための注意

※1 生活道路における歩行者等の安全な通行の確保のため、区域を定めて最高速度時速30kmの規制と、安全対策を組み合わせた整備
 ※2 路面の一部を隆起させたり、ラバーボールの設置などで道路を局部的に狭くしたりして車両の速度を抑制する整備手法

喚起の看板の設置も有効と考える。これらの整備は、地域からの土木要望や通学路の安全対策として実施することから、地域から要望があれば、現地確認や意見交換などに努めていく。

議員 田に一時的に雨水をため、時間をかけて排水する田んぼダムは、農業者にとって大きな負担がなく治水効果のある取り組みである。田んぼダムについて治水の観点からどう考えるか。

都市整備部建設担当部長 田んぼダムは、農地の保水機能を活用した有効な取り組みであるが、耕作者などの協力が必要となる。商工農水部と連携して自治会や農業関係者への周知に努める。

議員 農業は食と命を守る一番の事業である。関係部局が連携して本市の農業を支えてほしい。



まちづくり 南四日市駅、河川、運動施設の適切な環境整備を



政友クラブ 笹井 絹子

議員 JR南四日市駅（以下、駅）周辺の環境整備について、日永地区まちづくり構想（※1）には、駅舎の改修、駐車場、駐輪場の設置等周辺整備を進めると記載されている。令和5年11月定例会議会の一般質問時から現在に至るまでの駅周辺の環境整備の進捗状況はどうか。

都市整備部建設担当部長 今年8月にJR東海から駅舎の建て替えを検討していくとの説明があり、今後も協議を進めるとともに、駅舎前の既存スペースを活用し、駐輪場の整備に取り組む。また、駐車場については、JR東海による対応について、協議していく。駅周辺の環境整備については、都市計画マスタープラン地域・地区別構想（※2）に位置付けるとともに、地

域との情報共有を図りながら、JR東海と協議を行い、整備に向けた取り組みを進めていく。

議員 県が管理する鹿化川や天白川の下流部では、河川内の土砂の撤去や樹木の伐採を求める声があるが、これらの河川の維持管理については、どのような状況か。

都市整備部建設担当部長 県は、当該河川の土砂撤去や樹木伐採等を計画的に実施している。今後も、早期整備と維持管理を要望していく。

議員 中央緑地フットボール場の芝は、どのように管理しているのか。

シティプロモーション部長 試合などで倒れたロングパイル人工芝のブラッシングを定期的に行い、クッション性を維持している。

※1 住民が主体となって策定する、地区単位のまちづくりの構想
 ※2 地区まちづくり構想を基に市が策定する、地区単位の土地利用や都市整備に関する構想



水道水 農薬を除去する装置を整備せよ



政友クラブ
おぎす ともゆき
荻須 智之

議員 本市の水道水からネオニコチノイド系農薬（※）や有機フッ素化合物が検出されているが、これらの物質は国の対象農薬リスト掲載農薬類に含まれていないため、市は検査を行っていない。しかし、国からは地域の実情に応じて測定すべきとの通達が出されており、本市の水道水の実情に鑑み、水質検査項目に追加すべきではないか。また、本市には浄水施設がないが、汚染物質の影響を抑えるためには、浄水場や高度処理装置の設置が急務であるとする。市の考えを確認したい。

上下水道事業管理者 水道法上、農薬類は水質管理目標設定項目に定められており、対象農薬リスト掲載農薬類115項目について、年1回検

※ 平成5年頃から使用されている殺虫剤の一種。広範囲の害虫に効果があり、国内で幅広く使用されている

査している。ネオニコチノイド系農薬は対象農薬リストには掲載されていないため、現時点では検査する予定はない。

市長 本市の水道水は水道法に適合しており、問題はないと認識している。従って、現時点では浄水場や高度処理装置を整備する予定はないが、必要な検査は継続していく。

議員 発達障害児童生徒数が9年間で大幅に増加した他自治体での農薬検出濃度に匹敵しており、相関関係を指摘する学者もいる。本市の過去20年間の特別支援学級児童生徒数の全体に対する比率が3倍になっていることを鑑みると、市民の安全のため、将来的には浄水場や高度処理装置の整備を検討する必要があると考える。

契約 公契約条例をより実効性のあるものにせよ



政友クラブ
もりかわ まこと
森川 慎

議員 市が発注するすべての契約を対象に、適正な労働条件の確保、事業の質の向上などを旨とする四日市市公契約条例（以下、条例）を平成27年に施行したが、運用状況を確認する。

総務部長 不当に低額な入札を防ぐ最低制限価格制度を採用するなど、公契約の透明性、公正性および競争性を確保するとともに、一定の金額以上の契約については、受注者へ労働条件に関する報告を求めている。また、公契約審議会（※）を年1回開催している。

議員 地域経済の好循環を目指すには、一定の賃金を労働者に保証する労働報酬下限額（以下、下限額）を条例で規定することが重要である。下限額を導入している自治体はまだ少ないが着

※ 受注者から提出された労働条件に関する報告書の確認のほか、公契約条例の目的を達成するための施策について調査、審議を行う

実に増えている。本市が県内の他市町をリードできるよう条例で下限額を規定してはどうか。

総務部長 公契約審議会でも議論されているが、最低賃金法などとの関係から、下限額の導入には課題があると考えている。また、新たに制定された他自治体の公契約条例のうち、下限額を導入しているものは少ない。他自治体の状況を注視し、公契約審議会の意見を踏まえ、現行の枠組みの中で、条例のより良い運用を図り、適正な契約と労働環境の改善に取り組む。

議員 10年前の一般質問で同様の指摘をしているが、何も状況が変わっていない。実効性が十分でない現在の条例を今後どうしていくのか、方向性を明確に示すべきである。

新型コロナワクチン 新型コロナワクチン接種にかかる支援体制の充実を



フューチャー四日市
いせ りこ
伊世 利子

議員 新型コロナワクチン接種による健康被害に対する健康被害救済制度（※）はあるが、因果関係が不明で申請に至らないケースが数多く存在している。申請に至るまでのきめ細やかな支援が求められるが、市としてどのように取り組んでいるか。

健康福祉部保健衛生担当部長 市のホームページでの周知をはじめ、市の予防接種を委託する県内の約400の医療機関に対し、接種後の健康被害と思われる症状のある人に、市の相談窓口を案内してもらうよう協力を要請している。今後も、健康被害救済制度を広く周知するとともに、相談者への丁寧な対応を心掛けたい。

議員 今後の新型コロナワクチン接種の方向性

および市民への啓発方法について確認したい。

健康福祉部保健衛生担当部長 新型コロナワクチンの定期予防接種は重症化予防が主な目的であり、接種するかどうかは、主治医と相談するなど、個人の意思で接種することとなる。広報紙やホームページで市民へ周知するとともに、相談も行う。各関係機関とも連携し、市民への正確な情報提供と丁寧な対応を心掛けたい。

議員 個人の意思で接種するかどうかを選択することとなるため、必要な情報を分かりやすく市民に届けてほしい。また、かかりつけ医を持つことが、市民の健康維持や医療費適正化につながるため、医療機関が予防や生活支援の機能を拡大させるよう望む。

※ 予防接種法に基づく予防接種を受けたことと健康被害が生じたことの因果関係が認定された場合に、医療費などを給付するもの

公共交通 市民が公共交通を応援できる仕組みづくりを！



政友クラブ
もり やすのり
森 康哲

議員 市は、既存の公共交通を維持するために事業者に対して補助を行っているが、市民からも寄付などで応援してもらえるような取り組みが必要である。生活バスよっかいちでは、年間15000円で2人が乗り放題になるなどの応援券が発行されている。PRも兼ねて市が応援券を販売することは難しいと思うが、他に応援できるような取り組みはできないか。また、例えば、四日市あすなろう鉄道が販売する回数券を、電車のデザインや、こにゅうどうくんのイラストを活用して、市民が買いたくなるようなデザインにするなど、市民が公共交通を応援できるような取り組みをしてはどうか。

都市整備部長 四日市あすなろう鉄道では、車両をかたどった1日乗車券を販売したり、市民主体でイベントを企画したりするなど、事業者、市、地域が協力して盛り上げている。また、生活バスよっかいちでは、事業者が沿線散策や観光ツアーなどを実施している。四日市あすなろう鉄道は運行開始から10年、生活バスよっかい

ちは20年が経過することから、一層の利用促進策を検討する。併せて、今後は三重交通と共同運行する路線バス「こにゅうどうくんライナー」等への展開も含め、多くの市民から応援してもらえるよう多様な取り組みを検討していく。

議員 応援券の周知など、公共交通を利用する市民はもちろんのこと、利用しない市民も巻き込み、市全体で応援する取り組みをしてほしい。



生活バスよっかいちの応援券。1カ月券、6カ月券、12カ月券がある

学校 通級指導教室に通うための負担軽減を図れ



フューチャー四日市
おだ 小田あけみ

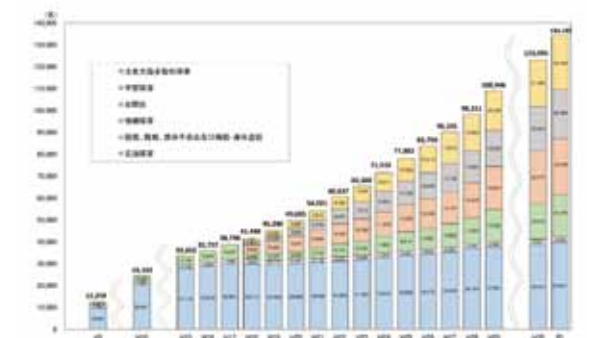
議員 通級指導教室（※1）に通う児童を持つ保護者は、通院や通級指導教室への送迎のほか、放課後等デイサービス（※2）から児童が帰宅するまでに家にいる必要があるため、有給休暇がいくらあっても足りない。なぜ、保護者の送迎が必要なのか。

教育長 本市では通級指導教室を小学校8校、中学校3校に設置している。児童が安心して通級できるほか、保護者と指導担当が児童の状況を共有し、家庭でも行える支援等について話し合うために、保護者による送迎を求めている。

議員 他の自治体では巡回型の通級指導教室を採用しているところもある。本市でも導入すべきではないか。

教育長 巡回指導では教員の移動時間が発生し、その分指導時間が短くなる。また、年度途中に入退級があると、巡回する学校や時間割が変更になり、さらに多くの通級指導員が必要となる。県と連携して課題を整理し、巡回指導の実現の可能性について検討したい。

関連質問（樋口龍馬議員） タクシー会社等と協力して、保護者以外の方が送迎できる仕組みを検討すべきだ。また、送迎にかかる時間を短くするため、保護者の勤務先に近い通級指導教室に通えるように調整することはできないのか。
教育長 できる限り児童と保護者の負担が少ない時間帯で調整しているほか、通級指導教室を市内にバランスよく配置するよう努めている。



通級による指導を受けている児童生徒数は全国的に増加している 出典：文部科学省ホームページより

※1 小・中学校に通う比較的障害の程度が軽い子どもが、通常の学級に在籍しながら障害に応じた特別な指導を受ける教室
※2 6歳から18歳までの障害児を対象とした、放課後や学校休業日に生活能力向上のための訓練等を受けられるサービス

健康 がん患者が必要な支援を受けられる環境の整備を



フューチャー四日市
ごとう じゅんこ
後藤 純子

議員 40歳未満のがん患者が自宅での療養を希望する場合、介護保険の対象とならないため、患者や家族にとって大きな経済的な負担となる。市は今年度から若年がん患者の在宅療養の支援に取り組むが、支援内容を確認する。

健康福祉部保健衛生担当部長 地域医療の柱として在宅医療の推進に取り組んできた。40歳未満のがん患者が住み慣れた自宅等で最期まで安心して生活が送れるよう、介護保険制度に準じて、訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与・購入、ケアプランの作成など、在宅療養費の9割相当を利用上限額の範囲内で補助する。

議員 県はがん患者やその家族が悩みを分かち合う「おしゃべりサロン」を定期的に開催して

いる。また、他市では治療に伴う脱毛などのアピランスケア（※）のため、ウィッグなどの費用を県の支援に上乗せして補助しているが、こうした取り組みを本市でも実施できないか。

健康福祉部保健衛生担当部長 市では、三重県がん相談支援センターとおしゃべりサロンを共催するほか、市立四日市病院で患者やその家族が悩みを共有する「ひだまりサロン」を定期的に開催している。アピランスケアについては、補助の主体を市町に移行する考えを県が示しており、令和7年度中に方向性を取りまとめたい。

議員 すべてのがん患者が尊厳を保ちながら住み慣れた地域社会で安心して生活できるよう、必要な支援を受けられる環境を整備してほしい。

※がんやがん治療による脱毛などの外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア



合葬墓 公営の合葬墓の整備に向けた取り組みを進めよ



フューチャー四日市
むらやま しげお
村山 繁生

議員 ここ10年で墓じまいという言葉が定着してきた。少子高齢化や核家族化で墓の管理ができないとの不安を抱える人が増え、合葬墓（※1）の需要は年々高まっている。本市でも総合計画に記載され、基本設計が予算化されたが、一部の意見を受け、令和4年11月定例会議会で減額補正されたのは、納得できない。最大の理由は、公営の合葬墓の使用料が極端に安ければ民間の経営が圧迫されるからとのことだが、行政は経済的事情がある人や身寄りのない人を対象とするなど、民間とのすみ分けの方法はいろいろあり、大いに共存できる可能性がある。改めて合葬墓の必要性と民間との役割分担などについて丁寧に意見を調整し、再度前向きに進め

べきではないか。

環境部長 葬儀や墓は終活支援（※2）の中で最後の部分を担う重要な役割があると認識しており、今後さらに身寄りのない人が増加することが予想される中、終活支援全体の中で合葬墓の在り方を考える必要がある。市として民間との差別化を図る中で、終活支援の観点から行政が担う役割を整理した上で、総合計画の中間見直しの中で位置付け、合葬墓の設置について検討を進めていく。

議員 市民が公営の合葬墓に期待する声は本当に大きい。墓の管理を承継してもらえない人の切実な思いをしっかりと受け止め、改めて整備に向けた取り組みを前向きに進めてほしい。

※1 他の多くの人の遺骨と一緒に埋葬する形式の墓のこと
※2 死と向き合い、自らが望む人生の最期を迎えるためのさまざまな準備を支援すること



防災 複数が担っている海岸堤防の管理を市が主導せよ



フューチャー四日市
たけの かねゆき
竹野 兼主

議員 楠地区から磯津地区までの海岸堤防の管理は、鈴鹿川河口は国、漁港区域内は市、それ以外は県に分かれているように、管理区分が複雑である。どの海岸堤防も建設から60年以上が経過し老朽化が進む中、本市が管理している楠漁港および磯津漁港の海岸堤防等の防災対策について、どのように取り組んでいるか。また、本市が管理する海岸堤防は、県が所管する海岸堤防と接しているため、県との連携が重要だと考えるが、どのように取り組んでいるか。

けて堤防の機能低下を防止する改修工事を実施する予定である。今後、特に県と接する部分で工事を行う際には、堤防の機能を十分に発揮できるよう、事前に県と調整を図り、市・県が協調して整備に取り組めるよう努めていく。また、磯津漁港にある農地に水が過剰にたまり続けることで起こる農作物への被害を防止するための排水機場については、県が国の補助を受けて建て替え工事を行っており、令和13年度の完成を予定している。

議員 本市以外の管理者が管理する場所であっても、その管理者がその場所で災害が発生する可能性があることを認識してもらえよう、市が働き掛け、市民の安心安全を守ってほしい。

商工農水部長 本市が管理する楠漁港では、令和2年度から令和3年度にかけて、堤防の一部で耐震対策を含めた改修工事を行った。さらに磯津漁港では、令和7年度以降、国の支援を受



子育て 「四日市市政」本当にこのままでいいのか!!



新風創志会
たにくち しゅうし
谷口 周司

議員 本市では6年ぶりに年度当初の待機児童が発生した。その要因は保育士不足とのことである。パートタイム勤務の保育士の時給単価を上げて、近隣自治体と差をつけることで、より多くの保育士を確保すべきではないか。

こども未来部長 パートタイム勤務の保育士の応募者数が減少している。一人でも園児の受け入れを増やすため、保育士の時給単価を引き上げ、人材確保に努める。

議員 保育施設に預けずに家庭保育を選択する家庭への支援も重要である。県内の自治体では、給付金を出しているところもある。本市も同様に家庭保育を選択した家庭への支援を検討すべきではないか。



こども未来部長 新たな現金給付は、他の制度とのバランスも考慮し、慎重に検討していく。

議員 市長は「子育てするなら四日市」と掲げて、年度当初の待機児童が5年間ゼロだったにもかかわらず、今年度、本市は全国ワースト3位の72人の待機児童が生じた。市はこの問題に本気で取り組んでいるのか。

市長 配置基準でより多くの保育士を必要とする低年齢児の申し込みの増加などによって保育士が不足し、待機児童が発生した。保育士の確保や待遇改善が急務であり、一日も早い待機児童の解消に向けて真摯に取り組む。

議員 市の姿勢は理解するが、子育て家庭に不利益がないよう早急な対応を強く求める。

企業支援 事業を円滑に次世代へ引き継げる環境整備を



新風創志会
やまだ ともみ
山田 知美

議員 事業の後継者がいないことで廃業する企業が増えれば、地域経済の衰退につながる。市は事業承継の支援にどのように取り組んでいるのか。また、市が創業を希望する人と後継者を探す経営者を結び付ける取り組みはあるか。

商工農水部長 市では、県が設置する事業承継・引継ぎ支援センターと連携して商工会議所に相談窓口を開設するなどの支援を行っているほか、事業承継に関する支援の情報を提供している。また、創業相談の中で事業承継に関連する相談を受け対応した事例はあるが、両者を結び付けることを目的とした事業は行っていない。

議員 既存の事業を引き継ぐことも創業の有効な手段だと考える。創業支援事業に事業承継の

要素を取り入れてはどうか。また、事業承継に創業支援など複数の施策を組み合わせることで効果が高まると考えるが、市として事業承継の支援にどのように取り組むのか。

商工農水部長 創業と事業承継の二つの課題を組み合わせることは、効果的な手法である一方で、単なる創業とは異なる知識やスキルが必要となるなど特有の課題がある。まずは、創業支援団体や事業承継支援団体と情報を共有し、手法を研究したい。次に、事業承継の支援については、今年度に採択された国のモデル事業に取り組みながら、支援方法を検討していく。

議員 市内の中小企業が事業を円滑に次世代へ引き継げる環境を整備することを強く要望する。



保育料 保育料を見直し子育て世帯に優しい四日市に



新風創志会
つし ひると
辻 裕登

議員 子どもを保育園等に預けている世帯にとって、保育料は家計に直接影響する。本市の保育料は階層によって差はあるが、周辺市町と比較して2割程度高い。市はこの状況をどう考えているのか。

こども未来部長 本市では今年度当初に72人の待機児童が生じており、そのうち0～2歳の低年齢児が8割以上を占めている。保育料を引き下げると、さらに低年齢児の入所申し込みが増える可能性があることから、保育料の見直しについては慎重に検討していく必要がある。

議員 保育料を引き下げても保育を必要とする世帯数が大きく増加するものではなく、待機児童の問題と保育料は切り分けて考えるべきであ

る。本市より保育料が高い自治体は少なく、2割程度引き下げれば標準的な金額になる。2割下げた場合や、昨今進んでいる第2子無償化を実施した場合、財政負担はどの程度か。

こども未来部長 保育料を2割引き下げると年間約1億2700万円、第2子無償化を実施した場合は約2億3700万円の市の負担が必要となる。

議員 保育料の引き下げや第2子無償化を行う自治体は、首長の決断で行っていると聞いた。本市も保育料の見直しを検討すべきではないか。

市長 県内で最も保育料が高い水準にあることは改善していくべきと考える。まず待機児童を解消した上で、保育料の引き下げや第2子無償化など、適切な手法について検討したい。



緑 政 ヤギがつなぐ私たちの緑



新風創志会
ひらの たかゆき
平野 貴之

議員 公園ボランティアや市民緑地の活動では担い手の高齢化が課題となっている。特に、草刈りは、けがや熱中症などのリスクがあり、重労働である。その対策の一つとして、時間と労力を抑えた除草作業を実現できるのが、ヤギの活用である。ヤギは草を食べるので、除草後に草を集める作業も不要となる。国土交通省木津川上流河川事務所管内では、急傾斜地でのヤギ除草を実施した結果、人による除草に比べコストが約62%削減できたと報告されており、全国各地に広がりつつある。また、ヤギの放牧により地域住民への憩いの提供や子どもたちの感性を育む等の効果もある。市民や市民緑地の管理団体に、ヤギ除草の有効性を周知するとともに、市内の公園での実施を検討すべきではないか。

都市整備部建設担当部長 南部丘陵公園では、平成27年度から除草などを目的に調整池でヤギの放牧を行っている。この南部丘陵公園のヤギを他の公園で活用するには、地域への説明、監視員の配置や柵の設置が必要となるほか、ふん

尿による公園利用者への影響等の課題があることから、市内の公園等でヤギを活用した除草は難しいと考える。ヤギ除草の有効性を調整池に看板等を設置し紹介するとともに、市民緑地の管理団体の連絡協議会においても周知していく。

議員 前述の実験では、柵を設置した上でコストを削減しており、実施は難しくないと考える。また、堤防での実施も検討してもらいたい。



南部丘陵公園で実施しているヤギによる除草の風景



教 育 安全な通学環境の整備と不登校児童生徒への支援を



市民目線の会
こばやし ひろつぐ
小林 博次

議員 小山田小学校では過去に一部が路線バスで通学していたが、バス路線の廃止により徒歩通学に移行した経緯がある。交通事故やサル、イノシシの出没、重い荷物を持つ児童の負担を心配する地域からの声に加え、近年は熱中症のリスクも高まっている。他市ではスクールバスを地域の移動手段として効率的に運用している事例もある。地域の不安を解消するため、小山田地区でスクールバスを運行すべきではないか。

教育長 通学は徒歩が前提であり、スクールバスは、学校の統廃合などの急激な通学環境の変化に対応する一時的な措置とすることを基本としている。このため、現状の小山田小学校の通学環境でスクールバスを導入するのは難しいが、熱中症対策として、既存のバス路線の活用について、関係部局と調査、検討を行っている。

議員 本市の不登校児童生徒数は令和4年度の725人から令和5年度は905人に増加している。教育委員会ができる支援には限界があるため、民間団体などへ協力を求めるべきではないか。

教育長 市では不登校児童生徒の学びの場や居場所を確保するため、登校サポートセンターの充実や校内ふれあい教室の設置、拡充に努めている。市として先進事例を研究しながら、児童生徒の社会的自立に向けた支援の実現に努める。

市長 支援の届きにくい児童生徒へは、フリースクールの活用を含め、多様な支援手法を検討し、オール四日市で支援に取り組む。



小学生の通学の様子



認知症 認知症へのさらなる啓発を



無会派
いまむら あつみ
今村 厚美

議員 市は認知症カフェの運營業務を12カ所に委託しているが、本人や家族が認知症カフェの存在を知らなかったり、事業内容が分からなかったりするために、行きづらさを感じている人もある。認知症カフェに対する啓発が不足しているのではないかと。

健康福祉部長 認知症カフェの存在や利点を知らなかったり、家庭のプライバシーを他人に話すことへの抵抗感から、参加をためらう本人や家族がいることは課題として認識している。認知症カフェの周知だけでなく、認知症への正しい知識・理解の普及啓発に努める。

議員 市は令和4年度に「四日市市認知症フレンドリー宣言」をしているが、政策にはどのよ

うに反映されているのか。

健康福祉部長 介護予防等拠点施設ステップ四日市で、本人ミーティング（※）を開催し、官民連携の取り組みにも着手するなど、認知症の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい認知症フレンドリーなまちの実現に取り組んでいる。

議員 幼稚園の閉園跡地に、児童館やおもちゃ図書館を設置すれば、子どもの居場所ができる。そこに地域住民と交流できる場や認知症カフェを併設すれば、地域住民が世代を超えて交流できる居場所となる。普段から交流があれば、災害が発生したときの助け合いの基盤となり、非常に有効だと考えられるので、地域にとって有意義な施設の活用方法を検討してほしい。

※ 認知症の本人同士が集い、自らの体験や希望、必要としていることを語り合う場



公共交通 市民の移動手段の確保に取り組み



市民目線の会
たなか とおる
田中 徹

議員 市街化区域内の交通空白地域への対策として、本年11月から河原田地区でA1活用型乗合デマンド交通（※1）の実証事業が始まる。地域住民が主体となって実施したアンケート結果では、タクシーや小型バスに加え、地域のボランティア団体が住民主体サービス（※2）として提供する付き添い支援を移動手段として希望する人が多かったが、A1活用型乗合デマンド交通とのすみ分けは可能なのか。

都市整備部長 実証事業のA1活用型乗合デマンド交通は誰でも利用できるが、住民主体サービスは介護保険制度の要介護認定における要支援者などを利用対象としており、利用者の重複は少ないと考える。また、地域のボランティア

団体では、担い手不足や高齢化の課題を抱えており、住民主体サービスの利用者が新たな移動手段を利用することで、地域のボランティア団体の負担が軽減されるという声も聞いている。今後も公共交通施策と福祉施策を適切に組み合わせながら、移動手段の確保に取り組む。

議員 本市にはほかにも交通空白地域があり、市民の移動手段の確保に向けた取り組みの重要性は年々増している。今回の実証事業をはじめとする、本市の公共交通施策についての考え方を確認したい。

市長 実証事業の中で多くの人に利用してもらい、有効性を十分検証するとともに、今後も市民の誰もが移動しやすい環境の整備に努める。

※1 決まった運行ルートを決めず、A1（人工知能）が予約状況に応じて、最適な運行ルートを決める乗り合い輸送サービス
※2 介護保険サービス事業所以外のNPO法人や住民団体が、要支援者等に提供するサービス



福 祉 福祉避難所の増設に取り組み



市民目線の会
みずたに かずみ
水谷 一未

議員 令和6年6月定例会議会で一般質問した指定福祉避難所（※）の指定について、進捗状況を確認したい。

健康福祉部長 今年9月2日付けで、1カ所の老人福祉施設を指定福祉避難所として指定し、現在、この施設の運営法人と運営上の課題について検討を進めている。また、障害福祉施設の運営法人からは指定に向けた相談を受けており、具体的な課題について協議中である。今後も協議を重ね、課題を解決できた施設から、指定に向け、合意が得られるよう取り組みを進めたい。

議員 福祉避難所は高齢者、妊産婦、障害者などが利用するための重要な施設であるが、数が少ないと感じている。また、既に入居者がいる

施設では、災害時に福祉避難所として受け入れることが難しい場合があることを考慮し、グループホームや就労支援事業所、放課後デイサービス事業所などを福祉避難所として指定することを検討すべきではないか。

健康福祉部長 現在、市内にある障害福祉入所施設5カ所すべてと協定を締結し、福祉避難所として登録している。今年3月に策定した第5次四日市市障害者計画では、指定福祉避難所の指定の検討を掲げており、指定福祉避難所に関する相談があった法人と受け入れの可能性を調整している。今後も自立支援協議会などの場を活用し、福祉施設と意見交換を行いながら、福祉避難所の確保に向けて取り組んでいきたい。



※ 事前に受入対象を調整し、高齢者、障害者など特に配慮が必要な人が災害時に直接避難できる避難所

熱中症対策 熱中症を予防する市独自の支援を



日本共産党
おおたのりこ
太田 紀子

議員 熱中症警戒アラートの認知度は高くなっていますが、発表されても市民が実際に行動するまでには浸透していないと考える。市は熱中症予防に向けて、どのように取り組んでいるのか。

健康福祉部保健衛生担当部長 予防強化期間を定め、市ホームページやポスター、チラシ、庁内放送、SNSなどを活用し、熱中症予防や熱中症警戒アラートのメール配信サービスへの登録を幅広く呼びかけた。引き続き周知活動を行い、熱中症の予防行動につながるよう努める。

議員 これまでも熱中症のリスクが高い世帯へのエアコン購入の支援を求めてきた。生活保護世帯のうち、一定の条件を満たせば生活保護費で購入費用が支給されるが、それ以外の世帯は、

三重県社会福祉協議会の貸し付けしか支援がないのは不十分である。他自治体の取り組みも参考に、エアコンの購入費用が支給されない生活保護世帯や高齢者世帯、障害者世帯などへのエアコン購入を支援すべきではないか。

健康福祉部長 エアコンの購入費用が支給されない生活保護世帯へは、購入に向けた家計管理の助言などのほか、購入費用を生活保護費で支給する要件の緩和を国へ要望している。このほか、エアコンの購入費用の支援については、先進自治体や県の支援制度の動向を注視していく。

議員 市独自の支援がないのは残念である。他自治体の事例も参考に、少数派であっても市民に寄り添った施策を積極的に実施すべきである。



人事 パートタイム会計年度任用職員の待遇を改善せよ



日本共産党
むらかみさとし
村上 暁

議員 本市の全職員のうち、パートタイム会計年度任用職員（以下、パート職員）は4分の1を占めるが、報酬は時間単価に基づき支払われている。最も人数が多い事務補助のパート職員の報酬単価は1030円で、待遇は一部改善されたが、まだ正職員と差がある。国は、会計年度任用職員の報酬について、常勤職員の初号級の給料月額に基づき支払うよう通知しており、職員給与条で定める給料表を適用すれば、パート職員の報酬単価は大幅に改善される。国の通知通り給料表にひも付けて支払うべきではないか。

総務部長 パート職員の報酬単価は、県内の最低賃金の動向や近隣自治体、企業の動向などを踏まえ決定している。国の通知の趣旨を踏まえ、

大幅な報酬単価の引き上げが及ぼす人件費への影響や近隣自治体等の給与水準等も考慮しながら研究し、職員団体とも協議の上、検討したい。

議員 人事院勧告による給与改定があれば、正職員と同様に、パート職員の報酬も4月分までさかのぼって反映すべきではないか。

総務部長 職員団体との取り決めで、人事院勧告の結果が増減いずれの場合も翌年度に改定しているが、この点も含め職員団体と協議したい。

議員 同格都市50市のうち約9割がパート職員の報酬を給料表にひも付けて支払っている。本市でも将来的には実施する考えはあるのか。

総務部長 最終的には、パート職員の報酬も市職員等の給料表にひも付けていくものと考えている。



8月定例会議会の議案に対するご意見

一部の議案について、委員会審査前に市民の皆さんのご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。

◆詳しくはホームページへ →



- ◆新図書館等拠点施設整備事業費 12件
 - ・空き校舎などの活用は考えないのか。
 - ・候補地ごとの総費用の概算を示し、新図書館が生む効果と比較すべきではないか。
 - ・今の図書館は駐車場や学習スペースに不便を感じる。早期に新図書館を設置してほしい。
- ◆E Vバス導入促進補助金（企業版ふるさと納税活用事業費） 3件
 - ・E Vバスがもっと走っていれば、市内に車で来るより便利だと思う。

- ◆動産の取得について 4件
 - 電気自動車（軽貨物自動車）13台—
 - ・充電設備が必要な上、航続距離が短いなどの問題があるが、業務に支障はないのか。
 - ・災害時に電気を供給してほしい。
- ◆学校問題解決のための支援体制構築モデル事業（チーム学校推進事業費） 5件
 - ・教職員の負担軽減が、総合的な学力向上や、子どもたちが楽しく安心して過ごせる学校運営に結び付いていない。
 - ・不当な要求を減らす取り組みを進めてほしい。

11月定例会議会については、11月21日（木）に市議会ホームページに議案および議案資料を掲載し、12月6日（金）までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

実証実験にご協力いただき、ありがとうございました！

特設サイト「四日市市議会×まちだん」を利用した情報発信を行い、市議会の広報広聴機能の向上につながる実証実験を10月31日で終了しました。

実証実験期間中、議員プロフィールや動画の閲覧のほか、アンケートへの回答、議員への相談機能の利用によりさまざまなご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。今回の実証実験の結果を踏まえ、今後も市議会の情報発信について取り組みを進めてまいります。

●特設サイトの実績（10月2日時点）

特設サイトへのアクセス数



会員登録者数



特設サイトのページ閲覧数



議員への相談件数



政務活動費

■政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法の規定により制定された「四日市市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、四日市市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市議会における会派等に交付されます。

■政務活動費使途基準

政務活動費は、条例で定める以下の使途基準に従って使用します。
項目 調査研究費、研修費、資料作成費、資料購入費、要請・陳情活動費、会議費、広報費、広聴費、人件費、事務費

■交付額および交付対象

交付上限額を会派所属議員数×月額70000円×12カ月分とし、使途の実績に基づき交付する後払いとしています。また、会派に属しない議員に対しても会派に準じて交付されます。

■政務活動費の公開

政務活動費収支報告書、領収書・視察報告書等の写しは市議会ホームページと市役所北館1階の市政情報センターでご覧いただけます。

詳しくはHPへ



※ホームページでの領収書等の公開は令和3年度分から。

■令和5年度 政務活動費執行状況

(単位：円)

会派名(人数)	政友クラブ(9人)	新風創志会(7人)	フューチャー四日市(7人)	公明党(5人)	市民目線の会(3人)	無会派日本共産党(2人)	無会派(1人)	計
上限額	6,930,000	5,390,000	5,390,000	3,850,000	2,310,000	1,540,000	770,000	26,180,000
交付額	6,018,383	5,052,443	3,870,231	1,431,253	1,561,622	1,073,205	395,124	19,402,261

6月定例会議会号（No.345）に関するおわびと訂正

12ページの中で、以下のとおり記載誤りがありましたので、おわび申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。
フューチャー四日市 伊世利子議員の一般質問の25行目の発言者の表記
(誤) 議長 (正) 議員

人事案件

●人権擁護委員

栗廼 隆興 氏 (再任) 住所：赤堀3丁目
 川上 茂治 氏 (新任) 住所：楠町南五味塚
 佐藤 公美 氏 (新任) 住所：天力須賀2丁目
 川北 直美 氏 (新任) 住所：尾平町

三重県議会議員との意見交換会

8月26日に四日市市・三重郡選出の三重県議会議員と、四日市市議会の議長・副議長および各会派から1人の議員が参加し、意見交換会を開催しました。

年賀状の禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内にある方に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等を出すことが禁止されていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議会を傍聴してみませんか

市議会はどこからでも傍聴できます。本会議は市役所11階の傍聴席まで、各常任委員会は市役所11階の各委員会室、全員協議会室にお越しください。

意見書

- ◆子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書
 - ◆教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
 - ◆防災対策の充実を求める意見書
 - ◆義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- (提出先：内閣総理大臣 ほか)

議員説明会を開催

8月2日に「JR四日市駅前への大学設置の検討状況」、「新図書館整備に向けた候補地の検討状況」、「四日市あすなろう鉄道の鉄道事業再構築実施計画」について、行政側から説明を受けました。

議会報告会について

今回の議会報告会、シティ・ミーティングは令和7年3月下旬に開催する予定です。詳細は改めてお知らせします。

市議会モニター研修会を開催

7月22日に市議会モニターの皆さんを対象に議会運営等に関する研修会を開催しました。

11月定例月議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

11月定例月議会の日程は、11月24日執行予定の市長選挙後に決定します。決まり次第、市議会ホームページや地区市民センターに掲示する開催ポスターなどによりお知らせします。

現市長が引き続き就任する場合				新市長が就任する場合			
月	日	内 容	開始時刻	月	日	内 容	開始時刻
11月	27(水)	本会議 初日		11月	27(水)	本会議 初日	
12月	4(水)	本会議(代表質問)	午前10時	12月	2(月)	本会議(一般質問)	午前10時
	5(木)	本会議(一般質問)			4(水)	本会議(一般質問)	
	9(月)	本会議(一般質問)			5(木)	本会議(一般質問)	
	10(火)	本会議(一般質問)			9(月)	本会議(一般質問)	
	11(水)	本会議(一般質問)			10(火)	本会議(一般質問 ほか)	
	12(木)	本会議(一般質問 ほか)			11(水)	各常任委員会/予算分科会	
	13(金)	各常任委員会/予算分科会			12(木)	各常任委員会/予算分科会(予備日)	
	16(月)	各常任委員会/予算分科会(予備日)			17(火)	予算常任委員会 全体会	
	19(木)	予算常任委員会 全体会			18(水)	予算常任委員会 全体会(予備日)	
	20(金)	予算常任委員会 全体会(予備日)			23(月)	本会議 最終日	
25(水)	本会議 最終日						午後1時

※委員会は予定より早く終了する場合があります。 ※ 代表質問と一般質問はCTV122ch (サブチャンネル) で放送する予定です。 ※ 本会議と委員会は市議会のホームページで生中継します。録画配信もご覧いただけます。

あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会 [◎委員長 ○副委員長]

◎石川 善己 ○伊藤 嗣也 上 麻理 樋口 龍馬
 水谷 一未 村上 暁 森 智子 山田 知美

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 四日市市議会事務局
 Tel059-354-8340 Fax059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ [四日市市議会](#) **検索**